

2017年7月28日

神戸市長

久元 喜造 殿

日本共産党神戸市会議員団

団長 森本 真

神戸 - 関空ベイ・シャトルの事故の徹底調査と安全確認を求める要望書

神戸空港と関西空港を結ぶ高速船「神戸 関空ベイ・シャトル」が26日夜事故をおこし、乗客に重傷者を出す事態となっています。

27日のみたと総局の発表によると、ベイ・シャトル「そら」が通常ルートを西側に大きくはずれ航行し21時38分頃、前方左部が神戸空港東侵入灯台二施設に接触し、船首外版を損傷。この事故で乗客29名中、重傷者2名を含む15名の負傷者を出す事態となっています。

事故の原因を、進入コースを誤認する操船ミスとしていますが、視界が良好な中で、11年のキャリアを持つ船長が操船しながらなぜ、今回の事態を招いたのか解明されていません。

久元市長は「外郭団体を所管する市は、OMこうべに適切な安全運航を求めなければならない責任がある」とし、「再発防止のために何をすべきか意見を申し上げたい」と発言されています。にもかかわらず、OMこうべは原因解明と再発防止策が確立されていないなか、予約客が多数いることをもって、通常運行をつづけています。

よって、神戸市長におかれては、OMこうべに対し以下の対応を求めるよう申し入れます。

一、原因究明のための徹底調査を最優先にすすめ、再発防止策を確立すること。

一、安全性が確認されるまでは、運航休止もふくめた利用者の安全対策を最優先にした措置を講じること。

以上